

構成イメージ(案)

本
編

1. はじめに
2. 八方向作戦
 - ・ 八方向作戦の考え方
 - ・ オペレーションの要点
3. 事前の備え
 - ・ 道路におけるリスク情報の把握
 - ・ タイムラインの作成
 - ・ 人員・資機材等の体制構築・民間事業者との連携
 - ・ 広報
 - ・ 関係機関の計画との調整
 - ・ 訓練の実施
4. 発災後の対応
 - ・ 被災状況の把握
 - ・ 八方向作戦に必要な人員・資機材の確保
 - ・ 優先啓開ルート決定
 - ・ 道路啓開の実施
 - ・ 関係機関の連携
5. おわりに

調整中

添付
資料

八方向優先計画ルート図、資機材一覧表 等

各機関が設定している集結拠点



調整中

- 内閣府
 - ・内閣府が所管する防災拠点(下記)
 - 災害対策本部予備施設
 - 東京湾臨海部基幹的広域防災拠点
- 消防庁
 - ・「緊急消防援助隊の集結場所と進出拠点(首都直下地震)」における第1次応援と第2次応援の進出拠点
- 防衛省
 - ・首都直下地震を想定した増援部隊が前進目標とする駐屯地
- 国土交通省
 - ・国土交通省業務継続計画(第3版)で定める、TEC-FORCE隊員の進出拠点

図 各機関が設定している集結拠点

首都直下地震発生における道路啓開イメージ

北西方向

調整中

- ▶ 【啓開部隊A】
 <八方向作戦>とは別に、直轄個別管理路線について順次啓開
 【啓開部隊A'】
 直轄国道の途中が寸断されていても、高速道路等をアミダ状に前進し、直轄個別管理路線をできる範囲で順次啓開
- ▶ 【啓開部隊B】
 <八方向作戦>による拠点(戸田バスターミナルで調整中)に啓開部隊集結
 優先啓開路線を利用して都心へ
 (関越道→外環→R17→都道→首都高5号線)
- ▶ 【啓開部隊C】
 首都高速の啓開部隊による啓開
 (都心から郊外方面へ)

備蓄資材一覧表 26.7末現在

備蓄場所	土のう(袋)	土砂(m3)	カラーコーン(個)	バックホウ(台) 2h以内調達見込
大宮国道	8,397	—	—	—
協定会社	13,180	2,004	2,210	70

担当者連絡先

関係機関	担当者	連絡先
関東地方整備局 大宮国道事務所	管理第二課長	000-0000-0000
東京都建設局 道路管理部	保全課企画係	000-0000-0000
首都高速(本社)	埼玉大宮線、池袋5号線	防災対策課長 000-0000-0000
NEXCOE 三郷管理(事)	東京外環	副所長 000-0000-0000
所沢管理(事)	関越練馬～本庄児玉、圏央道あきる野～桶川北本	副所長 000-0000-0000
加須管理(事)	圏央道白岡菖蒲～久喜白岡	工務担当課長 000-0000-0000
高崎管理(事)	関越本庄児玉～水上	工務担当課長 000-0000-0000

